

美術館は 大 教室。

美術館

学校団体用

見学プログラム

こんな美術館の活用方法もあります！



ティーチャーズキット／アートカード

ティーチャーズキットとアートカードは、収蔵作品を鑑賞授業で活用するために制作された鑑賞用教材です。こちらは、学校への貸し出しもおこなっております。



アウトリーチ

美術作品を学校に持ち込み、教室で鑑賞会を開催したり、作家が学校へ出向き、制作の過程や作品のエピソードを直接お話しするなど館外での活動です。※要相談



教員向け学習プログラム

学校の先生にもっと美術館のことを知ってもらうために研修会を行います。先生方の取組に関するご相談、美術館の活用方法などについて一緒に考えます。



博物館見学

当館は、博物館も併設しております。沖縄の自然・歴史・文化を学ぶ「常設展示室」、さわって学ぶ「ふれあい体験室」があります。

マナーも
学ぼう



さわる



走り回る



大声で話す



撮影



メモは鉛筆で

お申し込み方法

見学の2～3か月前に当館ホームページより「団体受付申込」をダウンロードしていただき、ご記入の上、FAXにて送信ください。担当者よりご連絡差し上げます。

※ガイドボランティアによるプログラムは曜日の指定がございません。ホームページでご確認ください。

※学校教育の一環で利用する場合、県内の小学生・中学生・高校生、および引率教員は観覧料金が無料となります。(ただし企画展は別途)



Okinawa Prefectural Museum & Art Museum
沖縄県立博物館・美術館

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号

tel/098・941・8200 fax/098・941・2392

休館日：毎週月曜日

ただし、月曜日が祝日及び振替休日又は
慰霊の日の場合は開館し、その翌平日が休館

<http://www.museums.pref.okinawa.jp/>



Okinawa Prefectural Museum & Art Museum
沖縄県立博物館・美術館

美術館で 「感じる」授業。



● 生徒の感想

- ・本物の絵や昔の絵を見せてもらって感動しました。(小3)
- ・彫刻の作品は、細かく彫られていて色々な角度で見るとまた違って見れたのがよかったです。(小5)
- ・みんなで美術館へ行くという人々の感じたことがわり、とても楽しかったです。(中1)
- ・美術では答えが一つではなく、自分の思いやキモチで見ていくと楽しめることに気づきました。(中1)

正解を求めない問いかけ。
一人ひとり違う答え、そして成果。
子どもたちの感性がつくる、リードする
「感じることから始める」授業を
美術館で——。



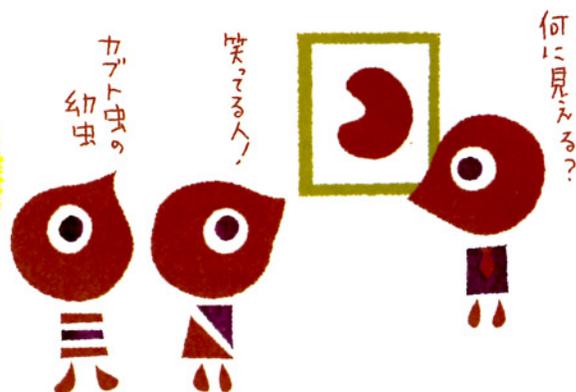
● 先生の感想

絵を描くのが大好きな子ども達「どんな作品があるんだろう」とワクワクしながら参加しました。「すいてまれそう」「不思議な」等々、子ども達の素直なつぶやきを引き出していただきました。自分も描きたい、つくりたい、もう一度見てみたいという声も多く聞かれました。

美術にふれる3つのコース

ガイドボランティアと鑑賞

見学の1か月前
事前打ち合わせを
行います

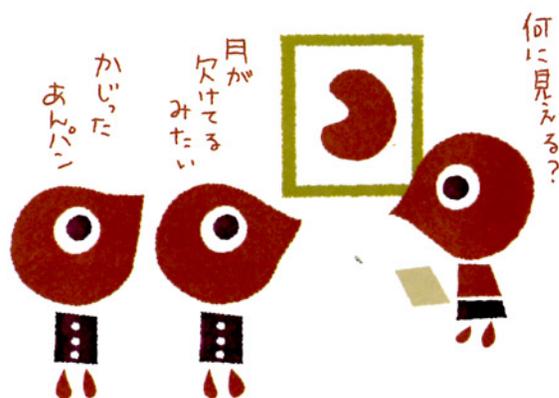


ここでは、ガイドボランティアと一緒に鑑賞します。クラスの児童・生徒を5～6名程度のグループに分け、各グループに1名のガイドボランティアが鑑賞のお手伝いをいたします。作品から感じたことを対話を通して鑑賞いたします。小さなつぶやきをグループで共有することで、作品理解につながります。

事前申込 ▶ 打合せ ▶ プログラム検討 ▶ 日程調整 ▶ ボランティア配置

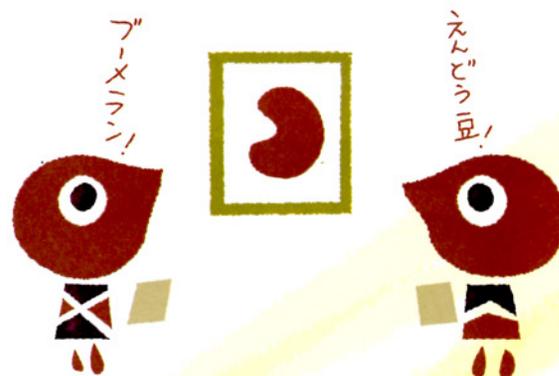
児童・生徒がグループで鑑賞

見学の1か月前
事前打ち合わせを
行います



各グループのリーダーに発問シートをお渡しします。シートの発問を選びながらグループで作品を鑑賞します。仲間同士で気になる作品を中心に主体性を持って鑑賞することができます。

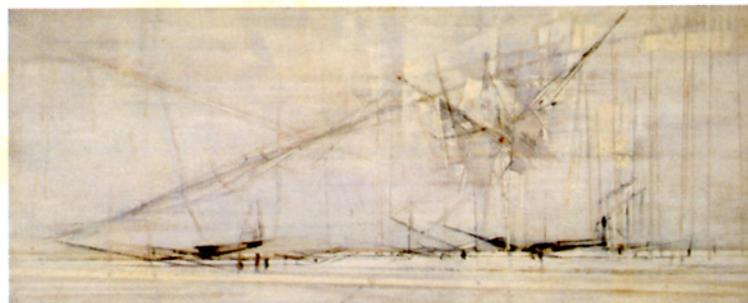
自由に鑑賞



各自が自分の視点で作品を鑑賞していきます。コレクション3には鑑賞用のワークシートが準備されています。作品理解の手助けとして、そのワークシートを鑑賞ガイドとして利用することができます。

こんな作品を見る事ができます

絵画から考える郷土・沖縄



安谷屋正義/滑走路



大嶺政寛/八重山風景



川平恵造/Now...1

沖縄の今と昔を
知る、考える、
想像する



2007年11月、沖縄県ではじめての県立美術館が開館しました。明治以降の沖縄の美術を体系的に収集し、本土と異なる風土と歴史の中から培われて来た独特の文化を表現した作品が多くあります。沖縄の風土を描いた絵画から、立体・インスタレーションといった作品に至るまで、ぜひ美術館で多様な芸術文化を感じてください。

美術館での鑑賞のメリット



見る

考える

話す

聞く

例えば、作品の大きさによる迫力、鮮やかな色彩表現、見る視点による作品の印象の変化等、実際の作品の前で鑑賞することで作品のよさを感じ取ることができます。

「美術館に作品鑑賞の答えはありません」自分の感性で作品と対峙して感じとるものです。同じ作品でもこれまでの経験によって見方が変わっていきます。その最初の機会を学校の授業を通して学んでください。